

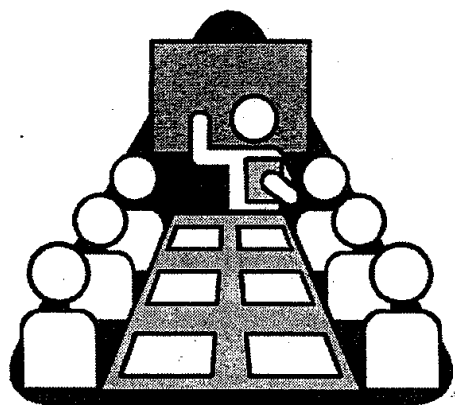
校務センターから

平成15年10月15日(火)発行 第 5 号 発行責任者：佐藤 秀喜

アントレプレナーシップの 早期涵養を目指して

先日、修学旅行団が帰校するのも見届けず出かけてしまいました。

実は、現段階では非公式な話ですが、西会津中学校を会場とした南東北の中学校1, 2年生を対象とした「アントレプレナー・知財スクール」を開催する話が、町役場地域振興課を中心として計画されています。この日、まだ非公式のこのセミナーの可能性を、会津大学およびジャストシステムの関係者と話し合ってきましたので、今回はこの内容についてお知らせしたいと思います。



現在、マーケットのグローバル化、情報技術の進歩、産業構造の変化などから市場環境が激変しています。それに伴って「自立心」「創造力」「判断力」「社会性」などの資質を兼ね備えた「生きる力」や「生活していく力」などのアントレプレナーシップ（起業家的な精神）を持ち合わせた人材の輩出が強く望まれていることは周知のことです。

本町の町長も、「就職難を何とかしろ」と文句をいう人間ではなく、自分で企業を興し、逆に「人を雇う」人材を育成したいと言っていました。「何もない」「何もできない」と思われる西会津町ですが、今日のような高度情報社会、交通網の発達は、この西会津にも新たな起業を可能にしているような気がします。ここで必要になるのがアントレプレナーシップ（起業家的な精神）ということができます。

町で計画しているこのセミナーは、このアントレプレナーシップとそのノウハウの一端を学ぼうという企画で、会津大学およびジャストシステムが協力してくれます。

会には、会津大学から助教授 清野正哉氏、ジャストシステムからは公共システム部部长 村岡 明 氏、主任 古川 宏治 氏が参加し、展望について話し合いました。

町の考えるセミナーの概要

1 目的

地方発・知的財産マインド・起業マインドを持った中学生を育成するため

2 場所

西会津町立西会津中学校

3 日時

12月20日～21日

4 人数

計 40名～50名

(宮城、山形、福島3県の希望する中学生。内20名程度は西会津中学校生徒)



今後考えていかなければならないこと

以上のような概要で行われるセミナーですが、次のようなご指摘もいただきました。重く受け止め、検討していかなければならないと思います。

学校教育とのかねあいはどうなっていますか？

町が明確な意図を持って行おうとしているこうしたプログラムも、学校が教育活動の中に積極的に取り入れていかなければ十分な効果は得られません。本校の情報科、あるいは総合的な学習の時間を利用して、起業家教育のカリキュラム化が必要になります。

例えば…

1年生

学校を商品に見立て、オリジナルのマーク、キャラクター、テーマソング、CM、ダンスを制作し発表。

2年生

「ミネラル」をテーマにした「食」とメニューを制作

3年生

インターネット上に仮想の会社を作り運営する「バーチャルカンパニー」を制作

次年度の教育課程編成に当たって、本格的に検討しなければならないと思います。

学校は評価が甘いと思います。

「はじめはやれるところからやればいい。そして十分な評価をして改善していけばいいんだけど、学校はその評価の段階が甘いんですね。」と部長さん。今年度取り組んでいる学校評価、しっかりやって改善に取り組みたいと思います。